

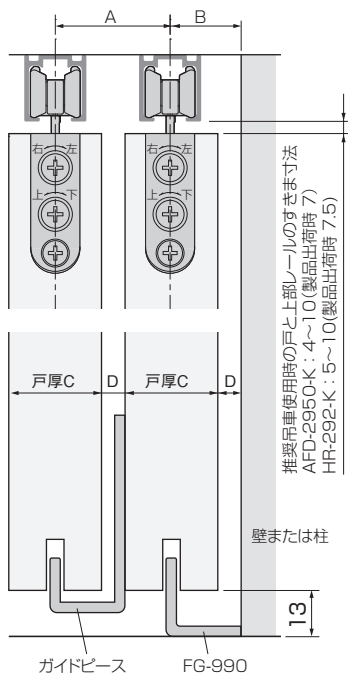
使用条件

本文266ページをご参照ください。

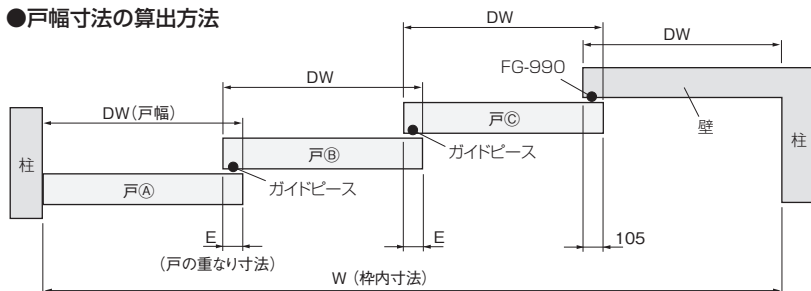
設計ガイド

■金具の納まり参考図

●上下および側面の納まり寸法



●戸幅寸法の算出方法



※ 戸の重なり寸法は、各ガイドがエンドクッションに入り込むために必要な寸法です。

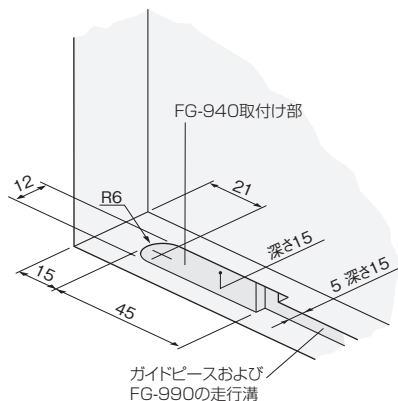
$$\text{戸幅 DW} = \frac{\text{枠内寸法 W} + \{ (\text{戸の枚数} - 1) \times \text{戸の重なり代 E} + 105 \}}{\text{戸の枚数} + 1}$$

ガイドピース	A	B	戸厚C	D	E	F
FG-980 (27-7)	34	20.5	27	7	105	22
FG-970 (30-7)	37	22	30	7	105	23.5
FG-960 (30-9)	39	24	30	9	80	25.5
FG-930 (33-7)	40	23.5	33	7	80	25

ご注意

- 正常に引戸を連動させるために、床と戸の隙間は13mmになるようにしてください。
- 吊り車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。
- また、FG-990と戸が接触しないようにしてください。
- 幅1に対する高さの比率が5を超える引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

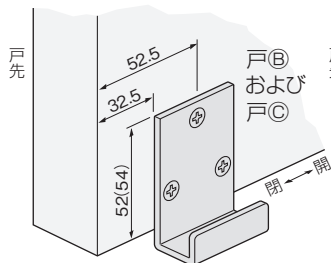
■戸下面の加工寸法参考図



■金具の取付け位置

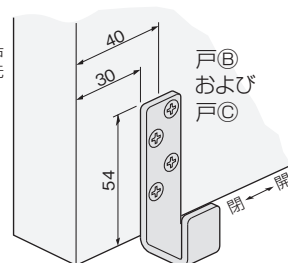
●ガイドピースの取付け (戸Bと戸Cの戸先側)

FG-980-FG-970-FG-960の場合

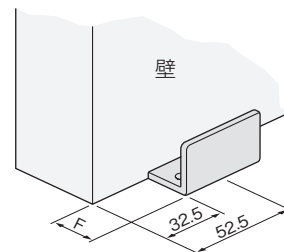


※ () 内寸法はFG-970の場合

FG-930の場合



●FG-990の取付け



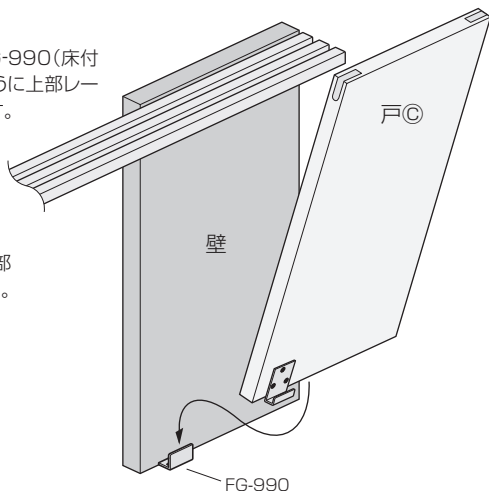
※ F = FG-980=22
FG-970=23.5
FG-960=25.5
FG-930=25

施工ガイド

■戸の吊込み

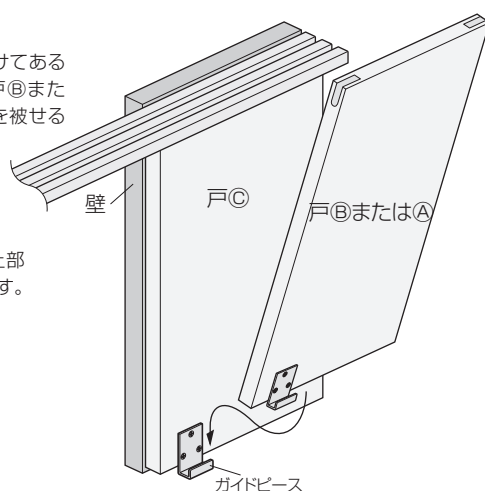
① 戸Cの下部溝をFG-990(床付ガイド)に被せるように上部レールの下に設置します。

② 戸とレール内の上部吊り車を接続します。



③ 戸C先端に取付けてあるガイドピースに戸Bまたは戸Aの下部溝を被せるように設置します。

④ 戸とレール内の上部吊り車を接続します。



開き戸金具

1

引戸金具

2

上吊式引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動間仕切金具

5

室内用アルミ建具

6

折戸金具

7

取手・引手

8

スライド丁番

9

スライドレールワイヤーバスケット

10

収納・吊金具

11

その他の家具金物

12

物干金具・諸金具

13

設計施工ガイド

会社案内